

器30 結紮器及び縫合器

一般医療機器 クリップリムーバ (10895000)

杉田チタンクリップ取り外し鉗子

* 【警告】

1. 適合するクリップ以外には使用禁止
適合するクリップ以外には使用しないこと。[クリップの破損の原因になることがあります]
2. 戻しバネの終端を外して分解洗浄する際は、戻しバネ部が変形しないよう取扱いには充分ご注意ください。[変形により鉗子先端の適切な開き巾が損なわれクリップが鉗子と干渉し、外れにくくなる恐れがあります]
3. クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)の患者、又はその疑いのある患者に使用した器具を再使用する場合には、最新の国内規制、ガイドラインを遵守すること。[二次感染の恐れがあります]

* 【禁忌・禁止】

1. 化学薬品の使用禁止
本品を化学薬品に曝すことは避けること。[腐食による損傷の原因となります]
2. 粗雑な取扱いの禁止
本品を変形あるいはキズをつける等の粗雑な取扱いはしないこと。[器具器械の寿命を著しく低下させます]
3. 磨き粉や金属ウールの使用禁止
洗浄の際、目の粗い磨き粉や、金属ウールで器具の表面を磨くことはしないこと。[本品表面に擦過傷を生じ、錆や腐食の原因となります]
4. アルカリ性・酸性洗剤・家庭用洗剤の使用禁止
洗浄に使用する洗剤は必ず中性洗剤(pH6~8)を使用し、アルカリ性や酸性の洗剤は使用しないこと。また、医療用洗剤を使用し、家庭用洗剤は使用しないこと。[脱色や腐食の原因となります]
5. 過酸化水素低温ガスプラズマ滅菌の禁止
本品に過酸化水素低温ガスプラズマ滅菌を使用しないこと。[表面が褪色し、性状に影響を及ぼします]
6. 戻しバネ部を変形させないこと。[戻しバネ部の折損や、変形により鉗子先端の適切な開き巾が損なわれクリップが鉗子と干渉し、外れにくくなる恐れがあります]
7. 本品は組織に取り付けられている手術用クリップを取り外す為の専用鉗子です。本品を使用してのクリッピング、再クリッピングはできません。[不適切な使用は、不十分なクリッピング、クリップの破損、クリップの飛び出しによる周辺組織の損傷等の恐れがあります]

* 【形状・構造及び原理等】

形状・構造

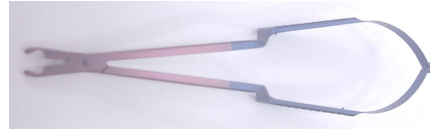
1. 杉田チタンクリップ取り外し鉗子
スタンダード(全体ブルー)



ミニ(先端シルバー、柄部ブルー)



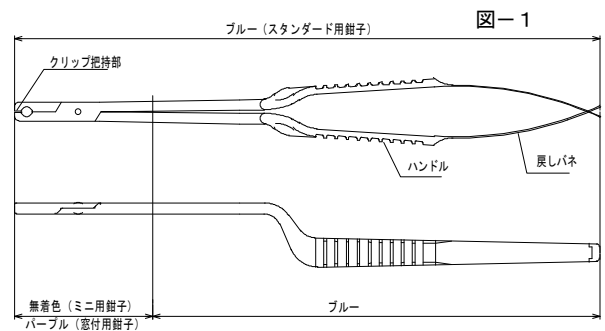
窓付(先端パープル、柄部ブルー)



商品コード	商品名
07-949-31	杉田Ti取外鉗子(STD用)直
07-949-32	杉田Ti取外鉗子 30° 曲STD用
07-949-33	杉田Ti取外鉗子(ミニ用)直
07-949-34	杉田Ti取外鉗子 30° 曲ミニ用
07-949-41	杉田Ti取り外し鉗子(窓付用)直型
07-949-42	杉田Ti取り外し鉗子(窓付用)30° 曲

材質: チタン合金

- (1) 杉田チタンクリップ(脳動脈瘤クリップ)専用の鉗子です。
- (2) 鉗子にはスタンダードクリップ用とミニクリップ用と窓付クリップ用があります。適合するクリップにより、鉗子全体には下記のように識別されています。(図-1)
スタンダード用鉗子: 鉗子全体が着色(ブルー)
ミニ用鉗子: 鉗子先端部のみ無着色、その他は着色(ブルー)
窓付用鉗子: 鉗子先端部着色(パープル)、その他は着色(ブルー)
- (3) 鉗子の戻しバネ部に適合するクリップが表示されていますので、確認してからお使いください。



2. 杉田チタンクリップII取り外し鉗子
スタンダード(先端グリーン)



ミニ(先端ピンク)



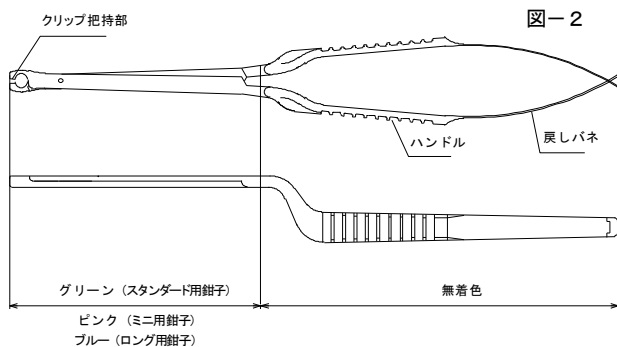
ロング(先端ブルー)



商品コード	商品名
17-012-56	杉田チタンⅡ取外し鉗子 スタンダード 直
17-012-57	杉田チタンⅡ取外し鉗子スタンダード 30° 曲
17-013-56	杉田チタンⅡ取外し鉗子 ミニ 直
17-013-57	杉田チタンⅡ取外し鉗子 ミニ 30° 曲
17-014-56	杉田チタンⅡ取外し鉗子 ロング 直

材質：チタン合金

- (1) 杉田チタンクリップⅡ（脳動脈瘤クリップ）専用の鉗子です。
- (2) 鉗子にはスタンダードクリップ用とミニクリップ用とロングクリップ用があります。適合するクリップにより、鉗子全体には下記のように識別されています。（図-2）
スタンダード用鉗子：鉗子先端部着色（グリーン）
ミニ用鉗子：鉗子先端部着色（ピンク）
ロング用鉗子：鉗子先端部着色（ブルー）
- (3) 鉗子の戻しパネ部に適合するクリップが表示されていますので、確認してからお使いください。



* 【使用目的又は効果】

本品は、ピンセット様の手術器具で、近位端で結合した2枚の刃をもつものである。刃はクリップを把持し、開いて除去するように設計されている。

* 【使用方法等】

本品のご使用前には必ず点検を行い、洗浄、滅菌を行ってください。（保守・点検に関わる事項を参照ください）

操作方法

1. ハンドルを指先で持ち、対象クリップに対して取り外し鉗子の溝を適切な位置に合わせます。
2. ハンドルを締め込みクリップの把持部を開かせクリップを離脱します。

** 【使用上の注意】

* 1. 重要な基本的注意

- (1) **本品は未滅菌品です。**使用に際しては必ず洗浄し、適切に機能することが確認された標準的滅菌条件又は医療機関で滅菌バリデーションが検証され、有効性が立証された滅菌条件で滅菌を行ってご使用ください。
- (2) クリップが鉗子の把持部の『溝』に適切に保持されていることを必ず確認してください。（図-3）
- (3) クリップのパネ部が鉗子の把持部に適切に保持されていない場合には、クリップが滑ったり、弾かれたりすることがあります。また、クリップのパネ部にダメージを与え、パネ部の損傷を招く危険性があります。（図-4、図-5、図-6）
- (4) クリップが曲がった角度で保持しないでください。（図-5、図-6）
- (5) 使用後、付着した汚れは必ず除去してください。特に、可動部（関節部など）に固着物を残さないように注意してください。

- (6) 杉田チタンクリップ取り外し鉗子は杉田チタンクリップ専用の鉗子として設計、デザインされています。又、杉田チタンクリップⅡ取り外し鉗子は杉田チタンクリップⅡ専用の鉗子として設計、デザインされていますので鉗子に適合するクリップを使用してください。他社のクリップや従来のコバルト合金製クリップには使用できません。

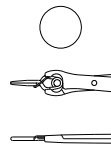


図-3

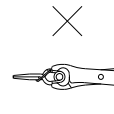


図-4

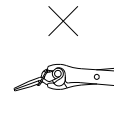


図-5

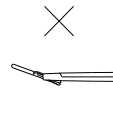


図-6

2. 不具合・有害事象

不具合事象

- ・化学薬品等の使用による腐食・孔食
- ・腐食や孔食による折損・破損

有害事象

- ・折損や破損片の体内遺残

* 【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

本品は高温・高湿を避け、温度や湿度が極端に変化しない場所に保管してください。

2. 耐用期間

指定した保守点検及び適切な保管をした場合：5年（自己認証）

** 【保守・点検に係る事項】

* <使用者による保守点検事項>

1. 使用前の点検事項

動作、機能チェックの実施

使用前には、必ず鉗子の表面状態を点検し、変形やクラック、傷、関節のゆるみなどの作動異常が認められた場合には、使用を中止し、点検、修理、又は交換の手続きを行ってください。

2. 使用後の点検事項

- (1) マイクロスার্ger用器具やデリケートな器具は、手作業で浸漬洗浄してください。分解できるものは分解して器具の全面を洗浄してください。超音波洗浄を使用する際は損傷防止のための専用ホルダーに固定してください。
- (2) 直ちに清水で洗浄する
 - (2)-1 本品が漂白剤、消毒液等の塩素及びヨウ素を含む溶液に曝された場合には、直ちに清水で洗浄し中性酵素洗剤に浸漬してください。その後用手洗浄、超音波洗浄にて汚染物を除去してください。
 - (2)-2 汚れの残存がある箇所はブラッシングによる物理的洗浄を追加してください。
 - (2)-3 洗浄剤や消毒剤の使用にあたり、製造業者の取扱説明書に従い、希釈濃度、湿度、及び浸漬時間等については遵守してください。
 - (2)-4 洗浄の際には柔らかい素材のタオル、プラスチック製ブラシ、ウォーターガンを使用してください。
 - (2)-5 金属製のブラシや粗い研磨材を使用することや過度の力を加えること、機器を落としたりぶつけたりすること等がない様にしてください。
 - (2)-6 洗浄水には完全脱イオン水（RO水：Reverse Osmosis）を推奨します。
 - (2)-7 仕上げすずぎは完全脱イオン水（RO水）を使用してください。

※本品の洗浄・消毒はウォッシャーディスイنفেকタの併用を推奨します。

熱水消毒条件：90～93℃、5～10 分間（A_o 値：3000～12000）
（EN ISO15883-1 参照）

- (3) 洗浄後は直ぐに乾燥する
直ちに乾燥させ、湿った状態で必要以上に長時間放置することは避けてください。
- (4) 蒸留水や完全脱イオン水（RO 水）を使用する
洗浄及び滅菌に使用する水は、蒸留水や完全脱イオン水（RO 水）をご使用ください。水道水中に含まれる残留塩素及び有機物質がシミや錆発生の原因となります。
- (5) 水性潤滑・防錆保守剤を使用する
洗浄後は潤滑・防錆保守剤が完全に取り除かれています。洗浄後は、滅菌する前に水性潤滑・防錆保守剤「ミルクテック S」を塗布してから滅菌してください。摺動部に潤滑・防錆保守剤が塗布されていない状態で機器の操作は行わないでください。【かじりの原因になります】
- (6) 保守
(6)-1 洗浄後、普通の照明下で、目に見える汚れが除去できたか目視点検を行ってください。
(6)-2 汚れを目で確認した場合、再洗浄を行ってください。
(6)-3 可動部にガタツキが無く滑らかなことを確認してください。

3. 滅菌

本品は未滅菌品です。使用に際しては必ず洗浄し、適切に機能することが確認された高圧蒸気滅菌器による標準的滅菌条件又は医療機関で滅菌バリデーションが検証され、有効性が立証された滅菌条件により滅菌を行ってください。

標準的滅菌条件の例：高圧蒸気滅菌（日本薬局方）

滅菌温度	保持時間
115-118℃	30 分
121-124℃	15 分
126-129℃	10 分

クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)患者、又は疑いのある患者に使用した器具の滅菌条件の例：高圧蒸気滅菌(ガイドライン参照)

滅菌温度	保持時間
134℃	18 分

<業者による保守点検事項>

本器械を安全に使用するために、弊社及び弊社が認めた業者による定期点検を実施してください。それ以外の業者による保守点検は、有害事象の発生、性能・機能の低下を招くおそれがあります。定期点検をご希望される場合は、ご購入店又は弊社にお問い合わせください。

【主要文献及び文献請求先】

プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班
プリオン病感染予防ガイドライン(2008 年版)

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

ミズホ株式会社

TEL 03-3815-3096

製造業者

ミズホ株式会社 五泉工場

*【保証期間に係る事項】

本品は納品/設置してから一年間を保証期間として無償修理いたします。但し第三者が修理した場合、天災による破損、不適切な使用、あるいは故意による破損は除きます。その他保証条件は弊社規定に依ります。